

2009 年世界医師会（WMA）ニューデリー総会について

1. 会期：平成 21 年 10 月 14 日（水）～17 日（土）
2. 場所：ニューデリー（インド）
3. 参加者：岩砂副会長、石井常任理事、畔柳参与
（随行）鶴岡国際課長、浜本主査、内山係員
4. 総会次第
 - 14 日（水） 理事会、医の倫理、財務、社会医学各委員会
 - 15 日（木） 準会員会議
学術集会「テーマ：多剤耐性結核（MDR-TB）とその流行から得られた教訓」
 - 16 日（金） 理事会本会議、総会式典（パティル大統領及びアザド保健大臣が挨拶）
 - 17 日（土） 総会全体会議、理事会
5. 参加医師会数等
 - ・ 46 医師会およびコモンウェルス医師会、インド倫理審査委員会フォーラム等 9 団体。
 - ・ 出席人数 272 名（日本からは 15 名参加、インド医師会からは 18 名参加）
6. 会長就任および次期会長選挙（10 月 16 日）
 - ・ 新会長にカナダ医師会のダナ・ハンソン氏が就任した。
 - ・ 次期会長選挙には、ケタン・デサイ氏（インド医師会）が立候補し、無投票で次期会長（2010～2011 年の会長）に選出された。
 - ・ ヨラム・ブレイシャー氏（イスラエル医師会）は前会長となった。
7. 総会での主な議決事項
 - (1) 医の倫理関係
 - 1) 新たに採択された文書
 - ① 医師主導の職業規範に関する WMA マドリッド宣言
 - ② 利益相反に関する WMA 声明
 - ③ 胚幹細胞研究に関する WMA 声明
 - ④ ニカラグアにおける中絶禁止法に関する WMA 緊急決議
 - ⑤ イラン・イスラム共和国における患者と医師の権利を支援する WMA 決議
 - 2) 修正案が採択された既存文書
 - ① 子どもの健康に関する WMA オタワ宣言
 - ② 医療方法特許に関する WMA 声明
 - ③ 遺伝子と医療に関する WMA 声明
 - ④ 医師と営利企業の関係に関する WMA 声明
 - 3) その他
 - ① 医学研究におけるプラセボの使用について
作業部会（議長国ドイツ）は 2010 年 2 月にサンパウロ（ブラジル）で専門家を招いて本件に関する会議を行う予定。本会も作業部会のメンバーとなっている。
 - (2) 社会医学関係
 - 1) 新たに採択された文書
 - ① タスクシフティングに関する WMA 決議（日医は作業部会に参加）
 - ② ヘルスケア提供を目的としたテレヘルス使用の指針に関する WMA 声明
 - ③ 健康と気候変動に関する WMA デリー宣言
 - ④ 健康格差に関する WMA 声明
 - 2) 修正案が採択された既存文書
 - ① 医療における継続的な質の改善ガイドラインに関する WMA 宣言

- ② 医療従事者に関する WMA 決議
- ③ 公衆衛生における投資改善に関する WMA 決議
- 3) 継続審議・各国医師会へ回付される案件
 - ① 医師の医薬品処方権に関する WMA 決議案
作業部会（議長国スペイン）は、処方権の問題は複雑で各国により状況が大きく異なることから、継続審議と各国医師会への回付を提案した。本会が作業部会のメンバーに加わることが決定した。
 - ② 薬物療法における医師と薬剤師の関係に関する WMA 声明改訂案
各国医師会へコメントを求めて回付し、アイスランド医師会がまとめることになった。
- 4) その他
 - ① 女性と子どもに対する暴力について
作業部会議長が 4 つの主要テーマと、2010 年 5 月の理事会に第一草案を提出予定であることを口頭で報告した。
- (3) 財務企画関係
 - 1) 世界医師会雑誌（WMJ）
編集長のアピニス氏より WMJ 発行回数（4 回）を来年から 6 回に増やすとの報告があった。
 - 2) WMA ウェブサイト
事務総長より、WMA 加盟国および準会員のための専用ページや双方向性コミュニケーションを導入して、ウェブサイトの活用を促すための改定を行ったとの報告がなされた。
 - 3) 準会員
石井常任理事（準会員改革作業部会議長）が準会員改革案を提出し、同改革案を準会員会議において検討することが承認された。
 - 4) 今後の総会開催予定地
2010 年 10 月 13-16 日：バンクーバー（カナダ） 学術集会テーマ「健康と環境」
2011 年 10 月 12-15 日：モンテビデオ（ウルグアイ） 学術集会テーマ「禁煙」
2012 年 10 月 10-13 日：タイ
 - 5) 今後の理事会開催地について
2010 年 5 月 20-22 日：エビアン（フランス）
2011 年：オーストラリア
2013 年：チェコ
2015 年：英国
 - 6) 新規加盟の承認
マラウィ医師会の加盟を承認した（WMA の加盟医師会数は 95 となった）。
- (4) 学術集会
学術集会は 15 日、「多剤耐性結核（MDR-TB）とその流行から得られた教訓」をテーマに開催され、計 11 名の演者による講演と活発な議論が行われた。
- (5) 準会員会議
作業部会議長である石井常任理事は準会員改革案を提出し、準会員の特典を増やして準会員数の増加を図り、制度自体や会議内容の活性化につなげることを提案した。同改革案をもとに活発な議論が行われ、各国医師会にコメントを求めて回付されることとなった。
- 8. その他、総会時における各国との交流など
 - (1) CMAAO（アジア大洋州医師会連合）加盟医師会と意見交換の場を持ち、同地域の声を WMA に反映させるために CMAAO における情報交換をさらに活発に行うことが確認された。